

# 神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

文学博士竹田加寿雄先生

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 1976-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 河合, 慎吾, Kawai, S. メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2212">https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2212</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 文学博士竹田加寿雄先生

河 合 慎 吾

竹田先生は、定年を迎えられ、このたび、本学を去られることとなった。常に、外国書をこわきに抱え、服装など少しも構わぬ様子で、ネクタイをゆるめ、ときにはワイシャツの胸をはだけて、たえず新しい研究テーマを追い求めるような目付をしながら、寸暇も惜しむように廊下を小走りに、いそいでおられたあのエネルギッシュなお姿が、これから見られなくなるかと思うと、うたた惜別の念にたえない。

先生は、愛知県の「教育一家」として、大日本帝国教育会から、紀元2600年祭に表彰されたという名家に生をうけられ、後に「竹田学者兄弟」とうたわれた令弟寿恵雄博士（京都府立大学教授、西独ボン大学招聘正教授）とともに、幼いときから、神童と呼ばれ、稀にみる俊才の声が高かったそうであるが、その間の消息やその後のご精進のあと、さらには国の内外にわたってのご活躍のご様子などは、先生ご自筆の「私の自叙伝」や巻末の著作目録で、明らかであるから、ここではふれない。ただ、玉川大学出版部からでている「日本新教育百年史」の次の一文をひくにとどめよう。

「竹田加寿雄は、デューイ研究者として外国にまで著名である。……博士論文はデューイの教育学で、従来看過されていた彼の『場の思想』に新しい解釈を加えたものであるが、海外において高く評価され、アメリカのボストン大学などの招聘教授になっている」(第5巻 607～8ページ)。

先生の学界におけるご活動の多彩さは、たとえば、日本教育哲学会、関西教育学会各理事、文部省教育課程審議会専門調査委員など、歴任された役職の多さによっても、その一斑が察せられよう。ご著書が多いうえに、社会科教

科書や道徳副読本の監修者や代表執筆者をしておられた関係上、各県の教育研究会の講師として招かれることも多く、まさに寧日もないというご日常のようで、「私がのんびりと雑談を交しているような姿を、ひとは滅多に見たことはあるまい」とは、先生ご自身の、ときに、もらされたお言葉である。

また、学内でも、もちろん、さまざまな委員会の委員や委員長の任にあたられたが、そのテキパキしたエネルギーなお仕事ぶりは、「私の自叙伝」にもうかがわれるが、関係者の記憶になお新しいところであろう。

ただ、こうしてお別れすることになって、かえすがえすも遺憾なことは、せつかく、先生と長い間、職場をともにする幸運に恵まれながら、先生の貴重なご研究の時間を妨げることを恐れるあまり、親しく卓を囲み、膝を交えて歓談、ご教示をおおぐような機会が、ほとんど、もてなかったことである。

さいわい、先生は、ご退任直後にかかられた月余にわたる大患も、みごと克服され、近くの神戸学院大学で、再び教壇に立っておられる。今後のご指導とご交誼を、改めて願うとともに、先生の一そうのご健康とご研究の発展をお祈りする次第である。